

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 エステー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4951 URL <http://www.st-c.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長

(氏名) 鈴木 喬

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役

(氏名) 嶋田 洋秀

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

TEL 03-5906-0733

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	9,737	0.8	294	△14.4	212	△17.2	98	△21.1
21年3月期第1四半期	9,660	—	344	—	256	—	124	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	4.51	4.51
21年3月期第1四半期	5.72	5.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	26,661	19,187	70.4	859.32
21年3月期	27,616	19,029	67.5	853.81

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 18,765百万円 21年3月期 18,639百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		11.00	—	11.00	22.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	22,500	0.3	1,900	4.4	1,700	6.0	1,000	12.8	45.80
通期	46,000	2.5	2,600	4.3	2,200	10.6	1,200	11.5	54.96

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 29,500,000株 21年3月期 29,500,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 7,661,880株 21年3月期 7,668,760株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 21,834,430株 21年3月期第1四半期 21,814,274株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、景気の底入れ感を背景に株価が緩やかに回復したものの、世界的金融危機の影響により悪化した雇用情勢や個人消費の冷え込みが続き、大変厳しい状況で推移いたしました。

こうした状況の中、当社グループは「絞り込みと集中」、「世にない商品の開発」、「スピード経営」の3点を基本戦略とし、主力ブランドの強化と徹底したコスト削減に取り組んでまいりました。また、“デザイン革命”をテーマに掲げ、「商品力」で勝負できる体制の構築を図っております。この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、97億37百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

利益面では、引き続き製造部門を中心として製造コストの削減に取り組みましたが、一部の原材料価格が高止まりしている影響が大きく、営業利益2億94百万円（同14.4%減）、経常利益2億12百万円（同17.2%減）、四半期純利益98百万円（同21.1%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

『防虫・衛生関連事業』の売上高は、27億45百万円（同2.0%増）となりました。

衣類ケア（防虫剤）部門は、防カビ効果も備えている「ネオパラエース」の売上が伸長した他、コアブランド「ムシューダ」も堅調に推移したため、前年同期比で増収となりました。

ハンドケア（手袋）部門は、定番商品である薄手ゴム手袋の売上が伸長した他、消費者の衛生に対する意識の高まりを背景に使いきりポリ手袋も堅調に推移し、前年同期比で増収となりました。

サーモケア（カイロ）部門は、暖冬による影響でシーズン終了後の返品が増加しました。

『家庭環境関連事業』の売上高は、69億91百万円（同0.3%増）となりました。

エアケア（消臭芳香剤）部門は、昨年発売した電池式自動消臭スプレー「自動でシュパッと消臭プラグ」が売上に寄与した他、コアブランド「消臭力」も売上を伸ばしましたが、その他既存品の売上が低調に推移したため、前年同期比で減収となりました。

湿気ケア（除湿剤）部門は、「ドライペット スキット」の売上は伸長しましたが、シートタイプの商品などの売上が低調に推移したため、売上高は前年同期比で減収となりました。

ホームケア（その他）部門は、花粉症対策や新型インフルエンザに対する予防意識の高まりを背景に「ネクスケア マスク」が大きく売上を伸ばした他、お米の虫よけ「米唐番」も堅調に推移したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

各カテゴリー別の売上高は以下のとおりであります。

カテゴリー	売上高	前年同期比
衣類ケア（防虫剤）	2,231百万円	2.2%増
ハンドケア（手袋）	790百万円	7.0%増
サーモケア（カイロ）※	△276百万円	—
エアケア（消臭芳香剤）	4,915百万円	2.1%減
湿気ケア（除湿剤）	1,017百万円	0.3%減
ホームケア（その他）	1,058百万円	14.3%増

※サーモケア（カイロ）の前年同期売上高は、△230百万円でした。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して9億54百万円減少し、266億61百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加3億48百万円、受取手形及び売掛金の減少6億23百万円、有価証券の減少5億99百万円、商品及び製品の減少1億72百万円、投資有価証券の増加3億21百万円、繰延税金資産の減少1億75百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して11億12百万円減少し、74億74百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1億98百万円、未払金の減少5億66百万円、未払費用の減少2億8百万円、未払法人税等の減少2億36百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1億57百万円増加し、191億87百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当等による利益剰余金の減少1億47百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億35百万円であります。以上の結果、自己資本は187億65百万円、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して2.9%増加し、70.4%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比較して48百万円増加し、55億69百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は45百万円(前年同期は6億36百万円の使用)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2億15百万円、減価償却費1億95百万円、売上債権の減少額6億30百万円、たな卸資産の減少額2億16百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額2億円、法人税等の支払額2億84百万円、未払金の減少等を含むその他の支出6億94百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は2億28百万円(前年同期は39百万円の使用)となりました。収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入3億円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出63百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は2億39百万円(前年同期は2億41百万円の使用)となりました。これは、主に配当金の支払2億40百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年4月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
記載すべき重要な事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,491,969	6,143,841
受取手形及び売掛金	3,878,843	4,501,995
有価証券	—	599,435
商品及び製品	3,616,927	3,789,582
仕掛品	127,092	116,418
原材料及び貯蔵品	312,218	354,847
繰延税金資産	295,975	332,286
その他	400,349	298,340
貸倒引当金	△14,759	△19,081
流動資産合計	15,108,616	16,117,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,174,161	2,196,328
機械装置及び運搬具（純額）	836,110	882,328
工具、器具及び備品（純額）	294,733	328,329
土地	3,333,239	3,319,876
リース資産（純額）	20,523	17,248
建設仮勘定	19,971	21,396
有形固定資産合計	6,678,739	6,765,507
無形固定資産	453,070	472,515
投資その他の資産		
投資有価証券	2,707,436	2,385,670
長期貸付金	96,615	104,334
繰延税金資産	244,606	384,073
その他	1,381,347	1,396,498
貸倒引当金	△8,478	△9,687
投資その他の資産合計	4,421,527	4,260,890
固定資産合計	11,553,337	11,498,913
資産合計	26,661,953	27,616,579

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成21年6月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,818,171	4,016,609
リース債務	5,599	4,388
未払金	1,249,999	1,816,877
未払費用	272,721	481,372
未払法人税等	61,442	297,655
未払消費税等	73,371	49,301
返品調整引当金	98,900	140,000
その他	181,304	75,015
流動負債合計	5,761,511	6,881,221
固定負債		
リース債務	16,478	14,238
再評価に係る繰延税金負債	380,774	380,774
退職給付引当金	1,214,987	1,212,075
役員退職慰労引当金	99,733	95,833
その他	1,258	3,003
固定負債合計	1,713,231	1,705,925
負債合計	7,474,742	8,587,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,065,500	7,065,500
資本剰余金	7,067,815	7,067,815
利益剰余金	16,251,781	16,399,140
自己株式	△11,046,409	△11,056,390
株主資本合計	19,338,687	19,476,064
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	455,976	220,156
土地再評価差額金	△549,593	△549,593
為替換算調整勘定	△479,239	△506,919
評価・換算差額等合計	△572,856	△836,356
新株予約権	57,105	51,150
少数株主持分	364,274	338,574
純資産合計	19,187,211	19,029,432
負債純資産合計	26,661,953	27,616,579

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	9,660,411	9,737,262
売上原価	5,292,663	5,417,163
売上総利益	4,367,747	4,320,099
返品調整引当金戻入差額	45,200	41,100
差引売上総利益	4,412,947	4,361,199
販売費及び一般管理費	4,068,924	4,066,803
営業利益	344,023	294,396
営業外収益		
受取利息	8,079	6,964
受取配当金	35,481	25,627
仕入割引	50,057	52,138
受取手数料	9,263	8,894
その他	29,108	30,288
営業外収益合計	131,990	123,913
営業外費用		
支払利息	2,155	8
売上割引	181,898	187,492
持分法による投資損失	27,633	7,759
その他	8,198	10,924
営業外費用合計	219,885	206,184
経常利益	256,128	212,125
特別利益		
固定資産売却益	—	7
投資有価証券売却益	256	197
貸倒引当金戻入額	1,861	3,530
特別利益合計	2,118	3,735
特別損失		
固定資産除売却損	4,842	221
特別損失合計	4,842	221
税金等調整前四半期純利益	253,403	215,639
法人税、住民税及び事業税	53,356	54,723
法人税等調整額	66,786	55,058
法人税等合計	120,143	109,782
少数株主利益	8,577	7,431
四半期純利益	124,683	98,425

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	253,403	215,639
減価償却費	189,243	195,653
固定資産除売却損益(△は益)	4,842	214
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△256	△197
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,861	△5,530
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△11,765	1,191
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△325	3,900
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△45,200	△41,100
受取利息及び受取配当金	△43,561	△32,592
支払利息	2,155	8
為替差損益(△は益)	△1,520	△2,565
持分法による投資損益(△は益)	27,633	7,759
売上債権の増減額(△は増加)	422,546	630,744
たな卸資産の増減額(△は増加)	66,940	216,112
仕入債務の増減額(△は減少)	△535,232	△200,744
その他	△633,610	△694,055
小計	△306,567	294,436
利息及び配当金の受取額	48,163	35,579
利息の支払額	△2,155	△8
法人税等の支払額	△376,181	△284,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	△636,741	45,163
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,000	—
定期預金の払戻による収入	300,000	300,000
有価証券の売却による収入	300,000	—
有形固定資産の取得による支出	△107,699	△63,415
有形固定資産の売却による収入	—	7
投資有価証券の取得による支出	△51,681	△1,742
投資有価証券の売却による収入	40,674	385
その他	△21,056	△6,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,762	228,601
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△986	△110
自己株式の売却による収入	3,345	4,452
配当金の支払額	△239,947	△240,143
少数株主への配当金の支払額	△3,477	△1,896
その他	—	△1,394
財務活動によるキャッシュ・フロー	△241,066	△239,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34,418	13,982
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△951,990	48,653
現金及び現金同等物の期首残高	5,184,749	5,520,468
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,232,759	5,569,122

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	防虫・衛生関連事業 (千円)	家庭環境関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,691,350	6,969,060	9,660,411	—	9,660,411
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,691,350	6,969,060	9,660,411	—	9,660,411
営業利益	179,444	164,579	344,023	—	344,023

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	防虫・衛生関連事業 (千円)	家庭環境関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,745,435	6,991,827	9,737,262	—	9,737,262
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,745,435	6,991,827	9,737,262	—	9,737,262
営業利益	233,394	61,002	294,396	—	294,396

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の種類及び販売市場等の類似性を考慮して、区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
防虫・衛生関連事業	防虫剤、手袋、カイロ
家庭環境関連事業	消臭芳香剤、除湿剤、その他

3. 会計方針の変更

前第1四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が、防虫・衛生関連事業で8,803千円、家庭環境関連事業で50,866千円それぞれ減少しております。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

所在地別セグメント情報は、全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、その記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。